

5/21 三戸高校で「人権教室」

SNS の安全な使い方と人権を学ぶ

県立三戸高校（富田義明校長）と町は、人権啓発活動地方委託事業の一環として、会員制交流サイト（SNS）に潜む危険性や、スマートフォンの安全・安心な使い方を学ぶ「人権教室」を同校で開催しました。

教室には、全校生徒 112 人が参加。NTT ドコモ安全教室インストラクターの澤口沙菜恵さんがスマートフォンでのトラブル事例を紹介する再現ドラマを見せながら、安全な使い方について講話しました。澤口さんは「インターネットに一度投稿した情報は、完全に消すことはできないので気をつけましょう」「相手の姿が見えないと伝わらないこともあります。文字だけのやりとりにとらわれずに、会って話すことが大切」などと呼びかけ、生徒たちは熱心に耳を傾けていました。

その後、町人権擁護委員の根立朋子さんが講演し「相手の気持ちになって、自分がされていやなことはしないよう心がけましょう」と呼びかけました。

講話を聞いた中鶴間端歩さん（3 年）は「SNS は便利な反面、危険がたくさん潜んでいることがわかりました。自分の言葉に責任を持って SNS を利用していこうと思います」と生徒を代表し、お礼を述べました。



生徒たちに SNS の安全な使い方について講話する澤口さん



（左から）幸夫さん、里歩さん、松尾町長

5/21 卓球の全国大会に出場

全国大会で勝ち進みたい

小中一貫三戸学園三戸小 5 年の田中里歩さんは、5 月に行われた全農杯全日本卓球大会選手権大会青森県予選のホープス女子シングルの部で勝ち上がり、全国大会出場を決めました。

里歩さんは、全国大会前に父の幸夫さんと役場を訪れ「あせらず確実に勝ち進んで、優勝したいです」と松尾和彦町長に意気込みを語りました。松尾町長は「上手な人より好きな人の方が強くなる。多くの人の卓球を見て勉強してきてください。頑張ってください。」と激励の言葉を述べました。

6/5 さんのへ農業小学校でサツマイモの苗植え

たくさん元気に育ってね！

子どもたちに農業をとおして食の大切さを教えるさんのへ農業小学校の第 3 回目の授業が行われました。授業には 16 人の子どもたちが参加し、サツマイモの苗植えを体験しました。サツマイモの苗を植えたあとは、畑周りの草取りに汗を流しました。

高橋杜碧さん（三戸小 5 年）は「初めてのサツマイモの苗植え楽しかったです。自分で植えたサツマイモを食べるのが楽しみ」と笑顔で話しました。



サツマイモ、元気に育ってね！